



地球温暖化対策行動宣言

～自社の環境への取組みを手軽にPR！～



(商工会議所会員対象事業)

「2050年カーボンニュートラル」に向けて、国や自治体、多くの企業が動きはじめ、「グリーン産業」が新たな成長産業として期待される中、いまや大企業のみならず、中小企業においても省エネ・脱炭素の取組みが求められています。

そうした中、日本商工会議所では、各地商工会議所の会員事業者の皆さまが、自社における地球温暖化対策を広く手軽にPRいただけるよう『地球温暖化対策行動宣言』を実施しております。

まずは、自社の地球温暖化対策の『見える化』から始め、脱炭素社会実現を一緒に目指してみませんか。

宣言するメリット

- 自社の環境への取組内容を申告するだけで簡単に行動宣言が作成できます！
- 商工会議所のホームページに行動宣言を掲載して（無料）、低炭素経営の実践を手軽に全国にPR！
- 「CO2チェックシート」とリンクし、具体的な数値で省エネ実績やCO2排出削減量を明示でき、説得力もアップ！
- 事業所内での地球温暖化対策への意識向上、さらには経費節減効果の向上などの効果が期待できます！

宣言企業数
361社

※2024年1月時点

行動宣言登録の流れ

日商エネルギー・環境ナビ
「地球温暖化対策行動宣言」ページにログイン
<https://eco.jcci.or.jp/aboutdeclaration>



「地球温暖化対策行動宣言フォーム」
から貴社の行動宣言を登録
※具体的な宣言項目は裏面をご覧ください。



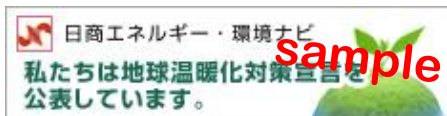
地球温暖化対策
行動宣言フォーム
宣言をご希望の方はこちらまで



商工会議所内で内容を確認後、日商で、
貴社宣言ページを作成（約1,2週間程度）



貴社の地球温暖化対策行動宣言ページの
表示URLおよびリンク用バナーをご提供



<地球温暖化対策行動宣言ページ：サンプル>



地球温暖化対策行動宣言


〇〇株式会社は、
長期的、継続的な温室効果ガスの排出削減に向けて、以下の行動を宣言します。

宣言日：2022年4月1日

私たちは、自社のCO2排出量削減や省エネルギーに取り組むと共に、お客様に提供する製品についても環境保全に配慮することを宣言いたします。

1. 自社(全社又は事業所)のエネルギー使用量を把握します。
2. 省エネルギーに向けた長期的な行動計画を作成します。
3. 機器・設備の運用の見直しや更新によりエネルギー使用量を削減します。
4. ワークスタイルやビジネスのあり方を見直し、省エネルギーに取り組めます。
5. 顧客、取引先等のステークホルダーにて、省エネルギーを呼びかけます。
6. 再生可能エネルギーの利用を推進します。
7. エコドライブを実施します。
8. 従業員に職場での省エネ行動や3R(Reduce, Reuse, Recycle)を徹底します。
9. 従業員とその家族に家庭での省エネ行動や3Rを呼びかけます。
10. 従業員の環境知識の向上に取り組めます。
11. 地域の環境活動に参加します。
12. カーボン・フットプリントを実践します。
13. クリーン購入を積極的に実施します。
14. 廃棄物の分別を徹底します。
15. 簡易包装を推進します。
16. 自社で実行する温暖化対策を宣言し、その結果を評価するとともに、継続的に改善して取り組めます。

代表取締役社長 日商太郎

登録はこちらから 
スマホでも簡単に登録可能!



「地球温暖化対策行動宣言」登録フォーム内容

下記18項目（+自由宣言文）から選択したものが貴社の宣言内容として登録されます。※1項目から宣言が可能宣言ページは、「日商エネルギー・環境ナビ」サイト上にも貴社名とともに公表のうえご紹介させていただきます。

(1) 自社（全社または事業所）のエネルギー使用量を把握します。
(2) 省エネルギーに向けた長期的な行動計画を作成します。
(3) 機器・設備の運用の見直しや更新によりエネルギー使用量を削減します。
(4) ワークスタイルやビジネスのあり方を見直し、省エネルギーに取り組みます。
(5) 顧客、取引先等のステークホルダーにも省エネルギーを呼びかけます。
(6) 再生可能エネルギーの利用を推進します。
(7) エコドライブを実践します。
(8) 従業員に職場での省エネ行動や3R（Reduce、Reuse、Recycle）を徹底します。
(9) 従業員とその家族に家庭での省エネ行動や3Rを呼び掛けます。
(10) 従業員の環境知識の向上に取り組みます。
(11) 地域の環境活動に参加します。
(12) クールビズ、ウォームビズを実施します。
(13) グリーン購入を積極的に実践します。
(14) 廃棄物の分別を徹底します。
(15) 簡易包装を推進します。
(16) 自社で実行する温暖化対策を宣言し、その結果を評価するとともに、継続的に改善して取り組みます。
(17) CO2排出 約__%削減（__年度～__年度）
(18) エネルギー使用量 約__%削減（__年度～__年度）

自由宣言文（上記チェック項目以外で、取り決めている内容があればご入力ください。）
※入力いただいた文章が、企業ごとの宣言ページ内に表示されます。

※上記（17）（18）を宣言する場合は、データ入力済みの「CO2チェックシート」を【担当事務局】（表面記載）までメールでお送りください。
CO2チェックシート➡：<https://eco.jcci.or.jp/checksheet>



～ご参考：中小企業向けの主な支援ツール～

① 中小規模事業者向けの脱炭素経営導入ハンドブック

～これから脱炭素化へ取り組む事業者の皆様へ～（環境省）

- 本ハンドブックは、「知る」「測る」「減らす」の3ステップでわかりやすく脱炭素経営のメリット・取組方法等について解説。加えて、脱炭素経営に取り組む中小企業の取組について、業種・企業規模別に事例集（計28社）としてまとめている。

【ハンドブック】 <https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf>

【事例集】 <https://www.env.go.jp/content/000114657.pdf>



② 省エネお助け隊（経済産業省 資源エネルギー庁）

- 「地域プラットフォーム構築事業」で採択された地域密着型の省エネ支援団体。中小企業等の省エネ取組に対して現状把握から改善まできめ細やかなサポートを全国各地域で実施。

【省エネお助けポータル】 <https://www.shoene-portal.jp/about/>



③ 省エネ最適化診断（一般財団法人 省エネルギーセンター）

- 「省エネ診断」による使用エネルギー削減に加え、「再エネ提案」を組み合わせることで、脱炭素化を加速させる新しいサービス。

省エネ最適化診断の特徴

3つの
ステップで
ご支援

省エネ診断
+
再エネ提案

改善提案の
ご説明

フォローアップ

●省エネの徹底
●再エネの導入
●IoT/AIの活用

【省エネ最適化診断とは？】 <https://www.shindan-net.jp/service/shindan/about.html>